

RM3542A 抵抗計

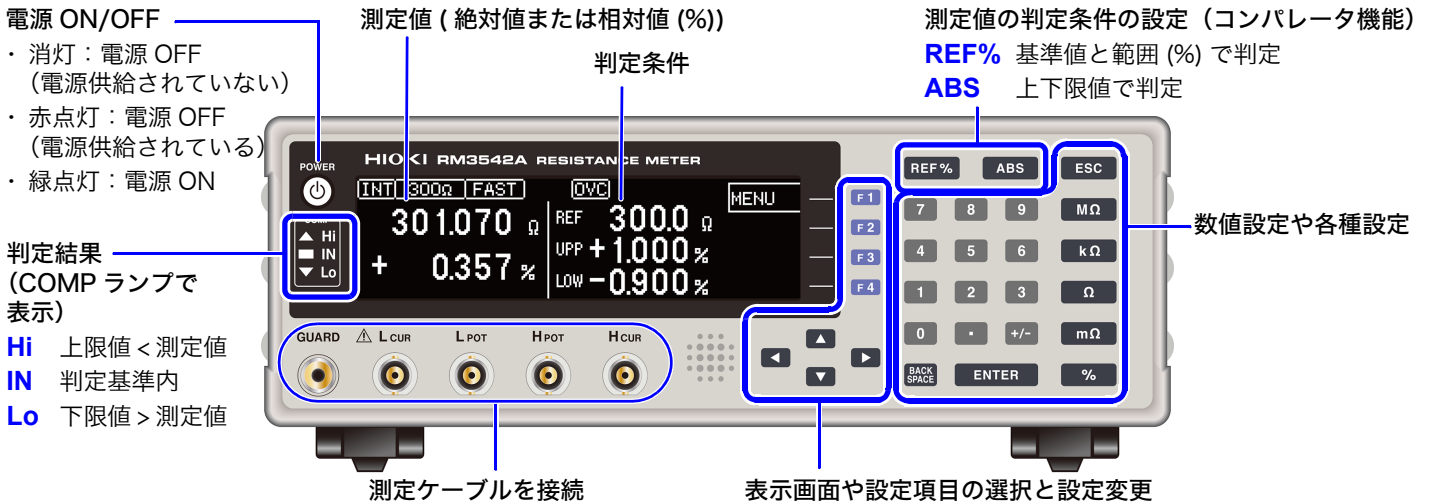
操作ガイド

JA

Feb. 2019 Revised editon 1
RM3542D961-01 19-02H



このたびは、HIOKI RM3542A (RM3542-50・RM3542-51) をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書は、基本的な画面操作とコンパレータ設定方法について紹介しています。本器をご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。



画面構成

測定画面

測定画面での操作については裏面をご覧ください。

基本設定画面

TRG	トリガソース INT/EXT
RANGE	測定レンジ 100mΩ ~ 100MΩ
SPEED	測定スピード FAST/MED/SLOW
0ADJ	ゼロアジャスト機能 ON/OFF
COMP	コンパレータ機能 ON/OFF
LOCK	キーロック機能 OFF/FULL/MENU

詳細設定画面

(MISC > MEAS F2 > MEAS SETTINGS)

測定条件設定

DELAY1	プロービングとトリガ入力の時間差調整
DELAY2	測定対象の電気的な応答性の調整
SCALING	スケーリング機能の設定
INT(FAST/ MED/ SLOW)	積分時間の微調整
CONT CHECK	コンタクトチェック ON/OFF
CONT IMP	接触改善機能の設定
VOLT MONITOR	電圧モニタ機能 ON/OFF
CURRENT MODE	電流モードの設定 CONT/PULSE

(MISC > DATA F3 > DATA SETTINGS)

データメモリ設定

AUTO MEMORY	オートメモリ機能 ON/OFF
STATISTICS	統計演算 ON/OFF
DATA OUT	測定値の自動送信 ON/OFF

(MISC > SYSTEM F4 > SYSTEM) システム設定

SET MONITOR	2 台の測定条件比較 ON/OFF
PROBE CHECK	プローブ短絡検出 ON/OFF
RETRY	リトライ機能 ON/OFF
VOLT LIMIT	印加電圧制限機能の設定
TRIG EDGE	(EXT. I/O) トリガ信号の立ち上がり / 立下りの設定
EOM	(EXT. I/O) EOM (測定終了信号) の出力方法の設定
SHIFT OUTPUT	判定出力シフト機能の設定
INTERFACE	通信インタフェースの設定
% OUTPUT	測定値の%出力機能 ON/OFF
PRINT MODE	プリンタの印字方法の設定
LOW POWER	ローパワー抵抗部品の測定 ON/OFF
JUDGE BEEP	判定音 ON/OFF
KEY BEEP	キー操作音 ON/OFF
CLOCK(Y-M-D)	内部時計の設定
LINE FREQ	電源周波数の設定
CONTRAST	画面のコントラスト調整
BACKLIGHT	バックライトの調整
RESET	初期化
ADJUST	本器の調整

測定値の判定基準を設定する

基準値と許容範囲で判定する

1 REF% モード

設定画面

2 項目選択

3 数値変更: BACK SPACE / 符号変更: +/- / 取消: ESC

基準値を設定する (例 10.5Ω)

上限値を設定する (例 +4.5%)

下限値を設定する (例 -4.5%)

上限値を設定すると、自動でマイナスの下限値が設定されます。必要に応じて変更してください。

4 ENTER

測定画面に戻る

上下限值で判定する

1 ABS モード

設定画面

2 項目選択

3 数値変更: BACK SPACE / 取消: ESC

上限値を設定する (例 150mΩ)

下限値を設定する (例 50mΩ)

4 ENTER

測定画面に戻る

測定画面表示について

測定スピード
FAST/MED/SLOW

測定レンジ
100 mΩ ~ 100MΩ

トリガソース
INT: 内部トリガ
EXT: 外部トリガ

0ADJ	ゼロアジャスト
OVC	オフセット電圧補正機能
LP	ローパワー抵抗測定
VL	印加電圧制限機能
S	スケール機能
▶	判定出力シフト機能
NUM	テンキー入力可能
F.LOCK	設定変更無効
M.LOCK	コンパレータ設定以外無効
RMT	リモート状態

INT 10Ω FAST REF 10.000 Ω
+ 0.121 % UPP +1.000 %
LOW -1.000 %

UNLOCK	F1	キーロック解除 (1秒押し) (MENU画面 LOCK:FULL/MENU設定時に有効)
LOCAL	F1	リモート状態解除 参照:取扱説明書 (⇒9.5 通信方法 p114)
PRINT	F2	測定値の印刷 (SYSTEM画面 INTERFACE: PRINT設定時に有効)
STAT	F3	統計演算結果を表示 (DATA画面 STATISTICS: ON設定時に有効)
NUMBER	F4	オートメモリ数の設定 (DATA画面 AUTO MEMORY: ON設定時に有効)

測定値のエラーについて

+OvrRng	オーバーレンジ 測定対象が測定範囲を超えているか、オープンワークです。	
-OvrRng		
C.E. Hi	コンタクトチェック異常 測定プローブの接触不良、ケーブルの断線の可能性があります。	
C.E. Lo		
C.E. Volt	電圧モニタ異常 プローブの接触が不安定か、外来ノイズが大きい可能性があります。	
-----	測定データなし 電源投入直後やレンジ切り替え直後で測定値がありません。その他のエラーにより測定値が表示できません。	
PRINT	F2	統計データの印刷 (SYSTEM画面 INTERFACE: PRINT設定時に有効)
UNDO	F3	直前のメモリおよび演算消去 (消去は1回のみ有効)
ALLCLR	F4	メモリおよび演算全削除